

(新)二酸化炭素海底下地層貯留技術開発事業費(エネ特会)

200百万円(0百万円)

地球環境局環境保全対策課

1. 事業の概要

二酸化炭素回収貯留(CCS)は、地球温暖化対策として重要なオプションと位置づけられている。将来、CCSによる二酸化炭素貯留量を温室効果ガス削減クレジットとして獲得するためには、二酸化炭素の回収、運搬、圧入等の一連の工程に加え、アセスメント、モニタリング等を通じて二酸化炭素を環境上安全に貯留するという管理システムが必要である。このうち、二酸化炭素回収、運搬、圧入等の要素技術については、我が国においてもこれまで開発が行われてきたが、環境保全上効果的で、透明性が高く、コスト効率的で、かつ削減クレジット獲得が可能なCCSの管理システムについての検討は緒についたばかりである。

そこで、今後実施が予定される、海底下をターゲットとしたCCSに係る環境影響評価やモニタリング等の環境保全上適正な管理手法の高度化に関する開発を行うとともに、我が国におけるCCSの導入可能性調査を行う。

2. 事業計画

(1) 二酸化炭素海底下地層貯留に係る環境影響評価手法の低コスト化・高度化に関する技術開発

低コストで精度の高い評価を行うため、CO2漏洩シナリオ開発を含む環境影響評価手法の開発を行う。

(2) 二酸化炭素海底下地層貯留に係るモニタリング手法の低コスト化・高度化に関する技術開発

二酸化炭素海底下地層貯留に係るモニタリング手法について、低コスト化・高度化のための技術開発を行う。

(3) 我が国におけるCCSの導入可能性調査

国内外の関連制度の調査を含む、我が国におけるCCSの導入可能性に関する調査を行う。

3. 施策の効果

本事業の実施により、海洋環境保全上効果的で、透明性が高く、低コストで精度の高いCCSの管理システムが確立し、将来のCCSによる大幅な二酸化炭素削減クレジットの獲得に貢献する。

4. 備考

委託費 200百万円

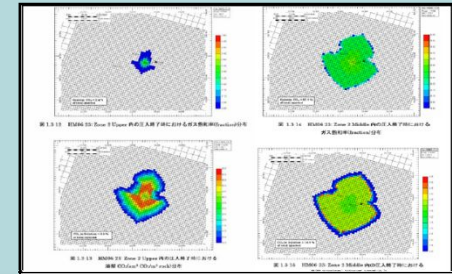
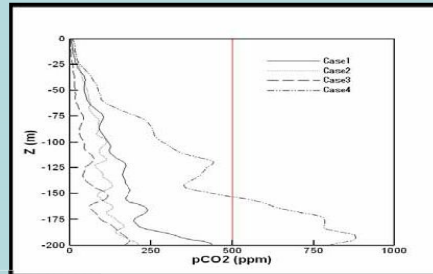
(内訳)

二酸化炭素海底下地層貯留に係る環境影響評価手法の高度化に関する 技術開発	40百万円
二酸化炭素海底下地層貯留に係るモニタリング手法の高度化に関する 技術開発	150百万円
我が国におけるCCSの導入可能性調査	10百万円

二酸化炭素海底下地層貯留技術開発事業概要

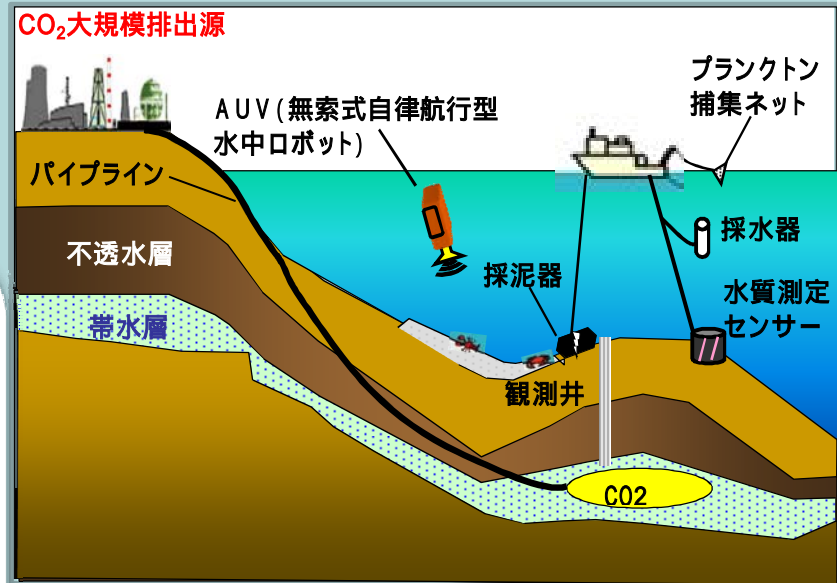
(1) 二酸化炭素海底下地層貯留に係る環境影響評価手法の低コスト化・高度化に関する技術開発

CO2漏洩シナリオ開発、環境影響評価手法の開発



(2) 二酸化炭素海底下地層貯留に係るモニタリング手法の低コスト化・高度化に関する技術開発

海洋中のCO2濃度、海洋生物等のモニタリング手法



(3) 我が国におけるCCSの導入可能性調査

